

「2022年スタート！」

新年明けましておめでとうございます。いよいよ2022年がスタートしました。今年の元日は天候に恵まれ、素晴らしい初日の出を拝むことができ、みなさんにとって、希望に満ち溢れた素敵な一年になることと期待しています。

冬休みは昨年を振り返り、今年の抱負や高校卒業後の進路を少しは真剣に考える時間を設けることができたでしょうか？また家族に進路について相談することができたでしょうか？時間を設けることができなかった人は家族で会話をする時間を設けてみてください。3学期の目標および今年の目標を達成できるように一日一日を大切にしてください。

3年生はいよいよ巣立ちの年です。卒業するときに「鹿児島工業でよかった」と自信を持って言えるように残りの高校生活を有意義に過ごしてください。「鹿児島工業の生徒である」ということに誇りを持ち、有終の美を飾れるように精一杯精進していきましょう。

2年生の3学期は、「3年生の0学期」と言われるように、進路実現に向けて、本格的にスタートします。来年度はいよいよ就職・進学に向け、一人ひとりが自分の進路を決定していかなければなりません。「働くとは？」ということを通して学んだと思います。働くことへの意識を高め、進路実現に向けて取り組まなければなりません。一日でも早く、自分自身の進路について真剣に考え、目標をしっかりと立て、家庭内でも話し合い、就職・進学が順調に決定できるように取り組んでいきましょう。

1年生は進級する系も決まり、本格的に系別の工業技術基礎が始まります。また、この3学期までの取り組みを含めた、高校で初めての「評定」が出されます。将来の進路選択に大きく関わってきますので、良い成績をあげられるよう常に意識してしっかり取り組んでください。



「3年生の進路状況」

12月末における3年生の全体の進路決定率は**96.0%**となっています。就職においては、コロナ禍の中、本校の専門性を活かせる企業からの求人件数は例年通り高水準を維持しており、県内652件、県外2149件、全体2946件となっています。学校紹介による就職者は12月中に全員内定が決まり、20年連続就職内定率100%を達成しました。また第一希望での合格率が8年連続90%を超える結果となっています。今年度はコロナ禍の影響もあり、県内就職を希望する生徒が増加しています。公務員を希望する生徒は昨年度とほぼ同数であり、専門を生かせる技術職を受験する生徒が合格の大半となっています。進学においては、様々な上級学校への進学希望者数が増えています。大学入学試験の受験方式が多様化していますので、進学する目的を明確にして早めの準備が必要となっています。

これから進学試験等に挑む生徒がおりますので、3学年全員が進路を確定できるように周囲の人も是非協力してください。

【3年生の希望状況・および内定・合格状況】 生徒数 354名

	就職者数	県内企業	県外企業	公務員	自己縁故	進学者数	大学	短大 高専	職能 大等	専門 学校	未定
希望者数	257	89	148	16	4	96	45	6	1	44	1
内定・合格	256	89	148	15	4	84	37	6	1	40	

【地区別就職内定状況】 20年連続 学校紹介就職内定率100%達成

	県内	関東	中部	関西	中国	九州	県外	全体
内定者数	89名	63名	19名	18名	9名	39名	148名	237名

「来校者面談より」

今年度も進路室に多くの企業の方が来校され、数多くの求人を頂き、企業の方々が鹿児島工業高校の生徒に期待されていることが伝わってきました。

あるA社の教育係の方の話です。

「鹿児島工業からこの春入社した人はあいさつの声や姿勢のレベルが他の人より高いです。ぜひ、今の3年生からも希望者を出して欲しい。鹿児島工業出身の人たちが職場の良い雰囲気をつくっています」と嬉しいお言葉を頂きました。先輩から後輩へ、鹿児島工業ブランドがどのように確立しているかを物語る例です。

また世界的に有名なB社の人事担当者が進路室で言われたことです。

「メモをしない人間は信用できない。メモしない人間は話したことすら忘れる。忘れるから気づきや反省がない。成長しないから仕事を任せられない。だから信用できない。」

授業や連絡事項を聞いてメモをすることは将来の仕事の基本です。「写しなさい」と言われて、ただ板書を写すのではなく、理解したうえでメモをする習慣を高めてください。そもそも職場で「写しなさい」という指示はあまりないと思います。普段から自己管理能力を高めるためにも手帳を活用しましょう。

あるC社の人事担当者的話です。

『はい』と返事をする人は信頼できる。『はい』という返事には私が責任を持つという決意がある。『はい』という返事はあいまいさを寄せ付けないため、返事がよい人には仕事を任せられることができる」

いずれも日常生活の中でしか育たないものです。日頃やっておけば就職試験対策として特別に練習する必要もありません。成長しようという心があれば、生活そのものが試験の準備になります。

今後の日常生活の中でも「日本一の挨拶運動」を目指して「あいさつ」をしていきましょう。そして、来校される方々に、3年生は「私たちは先輩に続き自分のため、後輩のために頑張りますのでよろしくお願いします」と、1・2年生は「3年生をどうかよろしくお願いします。私たちも後から続きます」という気持ちを伝えていきましょう。



「日頃の努力が進路に直結する」

就職も進学も求人枠や推薦枠に応じて学校から推薦できる人数が決まっています。とくに高校から就職する場合、縁故を除いて、すべて学校からの「推薦試験」です。

推薦とは、3年間の「評定平均」「欠席日数」「部活動等の活動状況」「資格・検定の取得状況」「生活態度・礼儀・身なり・性格適性等の人物面」などで優れた生徒を、上位希望者から推薦（校内選考）することを意味します。まずは、受験できるかどうか3年間の「努力」に掛かっています。日頃の課題や提出物も平常点として成績に反映されますので、その全てが進路に直結していきます。いまからでもできる最善の努力を尽くして、人間力を高めていきましょう。

「目標を達成するために」

2022年の良いスタートダッシュをきるためには、目標を達成するための良い習慣が必要です。良い習慣を身に付け成功するための12カ条（樋口武男氏 大和ハウス工業最高顧問）を紹介します。何事もスタートが肝心ですので、1つでも多く成功要素を身に付けて、進路実現に向けて動き出しましょう。みなさんの行動力に期待しています。

【成功する人の12カ条】

1. 人間的成長を求め続ける
2. 自信と誇りを持つ
3. 常に明確な目標を指向
4. 他人の幸福に役立ちたい
5. よい自己訓練を習慣化
6. 失敗も成功につながる
7. 今ここに100%全力投球
8. 自己投資を続ける
9. 何事も信じ行動する
10. 時間を有効に活用
11. できる方法を考える
12. 可能性に挑戦し続ける